



健康、安全、環境保護に関する指針

この指針はピレリ社員の健康、安全、福祉を守ることにより、活動の取り組み、発展において、ピレリグループの貴重な対価となるものです。

持続可能な開発を目指すピレリの戦略では、企業の価値観と倫理規定に則るとともに、国連グローバルコンパクトの構想によるサステナビリティモデル、「労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関（ILO）宣言」、「環境と開発に関するリオ宣言」に従い、環境衛生、労働衛生、安全性、福祉の観点から継続的な改善を目指します。

ピレリは具体的に以下の内容を実践します。

- 環境衛生、労働衛生、安全に関する合法的な活動と、最高の国際的管理基準に基づいて実施するあらゆる取り組みについて管理を行う
- 最終目標は「無事故」を追求することにより、労働衛生に関する事柄や安全上のリスクを迅速に特定、評価、防止するための対策を導入し、事故件数、重大事故、労働災害の低減を図るとともに、健康モニタープランを実施することで職務特有のリスクから労働者を保護する
- 環境リスクを迅速に特定、評価、防止することで適切な行動計画を決定し、グループの事業運営がもたらす環境負荷を低減する
- 緊急時管理プログラムを開発および導入することで、事故発生時の負傷や環境への被害を防止、回避する
- 全ライフサイクルを通し、プロセス、製品、サービスに関係する労働衛生、安全性、環境性能を常に改善し続けるため、特定の目標を定義、モニターするとともに、その目標を利害関係者に通知する
- 安全な製品を開発するとともに、汚染物質や廃棄物の量を最小限に抑えるための製造プロセスを開発する。また、各種素材の再利用やリサイクルにより、天然資源の消費量や気候変動の要因を削減し、事業を展開している地域を中心に、環境、生物多様性、生態系の保護を図る
- 安全で環境に配慮した働き方ができるよう、従業員に権限を与えると同時に、そのためのトレーニングと動機付けを行う。これは組織のあらゆる階層を対象としたもので、トレーニングと情報プログラムを継続的に実施することで、職場での安全を心掛けるとともに環境に敬意を払うという文化を深く根付かせる。また、これらの内容に関する責任および手続きが適切に更新、通知されるとともに、正確に理解されるよう徹底する
- 健康、安全、環境保護に関する情報提供と意識啓発プログラムを推進する
- 従業員がワークライフバランスを実現できるよう、継続的かつ実用的な支援を行う
- 責任を持ってサプライチェーンを管理する。特に、サプライヤーの選定基準、契約条件、監査基準に関しては、労働衛生、安全性、環境保護に対する配慮を心がける。このマネジメントモデルは、サプライヤーが事業展開する国の環境衛生、労働衛生、安全性に関する国際的な基準および規制に準拠するものとする

- 職場における安全性と環境保護を重視するという独自の文化を利害関係者と共有する。また、これらの問題に対処するにあたっては、国内および海外の各種団体や学術機関と積極的に協力する

ピレリは、この指針に示す価値観を追求していくため、定評あるベストプラクティスと国際基準に基づいた、総合的かつ体系的で積極的な内容の「健康、安全、環境」管理システムを採用しています。

ピレリの経営陣は、すべての従業員およびピレリと協力関係にある各位がこの指針に示されている価値観に則って行動を取るようするため、健康、安全、環境部門の継続的な指導を受けながら、この指針の完全な実践に向けた戦略的役割を担っています。

この指針に反する行為によって、健康、安全、個人の福祉、環境保護上のリスクが発生した場合、またはそうしたリスクの発生が危惧される場合に備え、ピレリは、匿名でも報告が可能な専用のチャンネル（ピレリのウェブサイトに掲載されている「内部告発ポリシーとその手順（Group Whistleblowing Policy-Complaint Procedure）」）を利害関係者に対して提供します。

2016年7月

取締役副会長 兼 CEO

Marco Tronchetti Provera